

**募集 生涯学習推進委員会  
委員募集**

市では、市民が主体性を持って学習し、充実した人生を送るための生涯学習の指針となる大綱を策定しており、この基本計画の推進について審議・評価していただく委員を募集します。

**【募集人数】** 3人以内

**【応募資格】**

- ①市内在住の満20歳以上の人  
※市議会議員および市職員を除く。
- ②市が設置する審議会および市の附属機関の委員でないこと。
- ③9月1日における年齢が70歳未満であること。

**【任期】** 2年

**【開催回数】** 年2～4回程度（原則、平日の昼間2時間程度を予定）

**【応募方法】** 「伊賀市生涯学習推進委員会への応募動機」として800字以内（様式は自由）にまとめ、住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・職業・電話番号を記入の上、持参・郵送・Eメールのいずれかで提出してください。

**【応募期限】** 7月26日（月）※必着

**【選考方法】** 作文審査・面接

**【応募先・問い合わせ】**

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市教育委員会生涯学習課

☎22-9679 FAX22-9691

☐gakushuu@city.iga.lg.jp

**募集 障がい者のパソコン教室  
受講者募集**

**【対象者】**

市内に在住し、障がい者手帳をお持ちで、一般のパソコン教室に参加することが困難な人

**【内容】** インターネットの使い方  
※初心者向け

**【使用システム】** Windows Vista

**【とき】**

■A日程：毎週水曜日

9月1日、8日、15日、22日、29日、10月6日

■B日程：隔週木曜日

9月16日、30日、10月14日、28日、11月11日、25日

《午前の部》 午前10時～正午

《午後の部》 午後1時30分～3時30分

**【ところ】**

NPO法人アイコラボレーション  
伊賀丸之内事務所  
（上野丸之内23）

**【定員】** 計20人

※各日程とも 午前の部：5人  
午後の部：5人

**【受講料】** 1,800円（全6回）

※テキスト代別途必要です。

**【申込期限】** 7月29日（木）

**【申込先・問い合わせ】**

障がい福祉課

☎22-9656 FAX22-9662

各支所住民福祉課

**募集 男女共同参画  
ネットワーク会議  
新規会員募集**

市では、会員独自の活動を尊重し、連携と情報交換を通じて、ネットワークを強化しながら、男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる、男女共同参画社会の形成をめざすことを目的としたネットワーク会議（愛称：いきいきネット）への加入を希望する新たなグループ、団体、個人会員を募集します。

主な活動内容は、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが」の開催やネットワーク会員相互の交流や研修などです。

**【対象者】**

市内で活動しているグループ・団体・個人  
※営利を目的としないこと。

**【会費】** 無料

**【申込方法】**

市ホームページまたは人権政策・男女共同参画課に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。

**【申込期限】** 7月16日（金）

**【申込先・問い合わせ】**

人権政策・男女共同参画課

☎22-9632 FAX22-9649

**聴診器  
市民病院だより**



**肝炎治療と医療費の助成**

内科 村山 卓



以前、このコラムでC型慢性肝炎のインターフェロン治療についてお話ししました。しかし、その後のC型肝炎の治療の進歩には目覚ましいものがあり、平成18年にペグインターフェロン、リバビリン併用療法が行われて以来、C型慢性肝炎は治る病気になりつつあります。

現在でも、年間約37,000人の人が肝癌で死亡していますが、この10年間の肝癌死亡者数がほぼ横ばいであることはインターフェロン治療が効を呈していることを示しているものと思われます。

しかし、“副作用が怖い”“治療費が掛かる”などの理由でインターフェロン治療を躊躇している人も少なくないのではないのでしょうか。

副作用は思ったほど多くなく、またほとんどの副作用は治療を中止することにより軽快します。治療費に関しても、平成20年度から医療費助成が開始され、最高5万円の自己

負担となりました。そして、平成22年度からは自己負担額が原則1万円（上位所得者は2万円）と、さらに減額され治療がより受けやすくなっています。また2回目のインターフェロン治療やB型慢性肝炎の核酸アナログ製剤による治療にも助成がなされるようになりました。

肝癌の多くは、C型慢性肝炎から肝硬変に進展し発症すると言われています。すなわち、C型慢性肝炎を制することは肝癌を制することです。

平成4年以前に、輸血や血漿製剤の投与を受けたことのある人、刺青をしている人はC型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。ぜひ一度近くのお医者さんでC型肝炎ウイルスの検査を受け、陽性であればインターフェロン治療を受けることをお勧めします。



お詫び  
と訂正

本紙平成22年6月1日号8頁に掲載した「集団がん検診・若年者健診のお知らせ」の検診日時の曜日に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【正】

11月21日（日）

【誤】

11月21日（土）

## 募集 産後ママの リフレッシュタイム

日常の子育てから少しの時間はなれて、インストラクターの指導のもとヨガを体験しませんか。出産後の骨盤や腹筋の回復を促し、産後の体型が戻りやすくなります。また育児による腰痛や肩こりなどを軽減し、心身ともにリラックスできます。ぜひご参加ください。

【と き】 7月30日(金)  
午前11時～正午

【ところ】 青山保健センター 運動施設

【対象者】 産後3カ月～およそ1年くらいまでの母親

【定員】 15人 ※先着順  
\*同時に託児も受け付けています。(要予約)

【参加費】 1回500円 ※施設入館料  
\*施設を初めて利用される人は、当日までに利用講習会を受講してください。詳しくは、お問い合わせください。

【持ち物】 室内用運動靴・運動できる服装

【申込受付開始日】 7月7日(火)

【申込先・問い合わせ】 青山保健センター  
☎ 52-2280 FAX 52-2281

## 募集 離乳食教室

赤ちゃんが生まれてから、はじめてお乳以外のものを口にするのが離乳食です。今回の実習では栄養士の話(1～2回食が中心)の後、実際に離乳食を作ってどのくらいの固さのものをあげたらいいのかを知ることができます。ぜひご参加ください。

【と き】 7月22日(休)  
午後1時30分～3時30分

【ところ】 いがまち保健福祉センター

【内容】 講話「離乳食(1～2回食)を中心に」、離乳食の調理と試食、栄養相談

【定員】 20人

【持ち物】  
○母子健康手帳  
○筆記用具  
○エプロン  
○三角巾  
○手ふきタオル

【申込受付開始日】 7月13日(火)

※先着順  
※電話予約制

【申込先・問い合わせ】 いがまち保健福祉センター  
☎ 45-1015 FAX 45-1055  
\*調理実習の際、先着5人まで託児があります。



## 募集 第6回 読書感想文コンクール 応募作品募集

【課題】 自由 ※未発表のもの

【応募資格】 市内在住・在勤・在学の人

【応募区分】  
■第一部：高校生、大学生、一般  
■第二部：中学生  
■第三部：小学生

【応募規定】  
①縦書き用400字詰め原稿用紙を使用し、応募は一人1点とします。  
②原稿枚数は、第一部、第二部は5枚以内、第三部は3枚以内とします。  
③題名は原稿の欄外へ記入し、住所、氏名、学校名などは、応募票に記入の上、原稿に添えて提出してください。  
④応募原稿は、返却しませんのでご了承ください。

【応募期間】 9月1日(火)～10月3日(日) ※必着

【各賞】 特賞、入選の人には、賞状と副賞をお渡しします。

【入賞発表・表彰式】 12月上旬、本人宛に連絡します。

【応募先・問い合わせ】 〒518-0873  
伊賀市上野丸之内40番地の5  
伊賀市上野図書館 感想文係  
☎ 21-6868

## 明日に 向かって

～差別をなくしていくために～

## どこから来たの? —大山田支所住民福祉課—

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

みなさんに一つのアンケートをしたとします。次のうち、誰が同和地区出身と見なされるのか、考えてみてください。  
①本人が現在、同和地区に住んでいる。②本人が過去に同和地区に住んだことがある。③本人の本籍地が同和地区にある。④本人の出生地が同和地区である。⑤父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる・または住んでいた。⑥父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある。⑦父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である。⑧わからない。

あなたはどうか考えますか? 実は、これは2009年度人権問題に関する伊賀市民意識調査の1設問です。その結果は、①55.3% ②23.7% ③35.7% ④35.2% ⑤29.3% ⑥21.9% ⑦20.2%でした。

①がすべてかと思ったら半数でしかない。あなたもわけがわからなくなったのではありませんか?それが証拠に、⑧の「わからない」が22.9%でした。要するに、これだけ意見が分かれるということは、自分でもどうでもよいことにとらわれているだけなのです。

このアンケートでは、⑤以降が父母あるいは祖父母のことを聞いています。それでは曾祖父曾祖母以上の人はもっと関係ないということですね。でも、祖父母の出生を知ろうと思えば、その親「曾祖父曾祖母」8人を調べないとわかりません。

逆に、あなたは同和地区出身ではないという証明はありますか?人はすべて父と母から生まれます。父も父と母から、母も父と母から生まれます。同じように命は人から人へ何千年もつながってきました。すべて自分の先祖ということになります。そこで、自分はどこから来たのか、そんなことを考える必要があるのでしょうか。わずかに二代さかのぼると、曾祖父曾祖母は8人になる。つまりひいじいさん、ひいばあさん8人の名前と出身をあなたは言えるでしょうか。わずかに二代さかのぼってもわからないのに、自分はなぜ同和地区出身ではないと言えるのでしょうか。

ひとを同和地区出身と決める定義はありません。何の根拠もありません。あなたがごだわるのか、理由付けしてまでも人を差別したいのかどうかだけなのです。